

日本国憲法(2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

定期試験の結果により、評価する。ただし、私語等、周囲に迷惑を掛ける受講生に対しては、試験結果からの減点や試験の受験を認めない等の措置を講ずることがあるので、注意すること。

[教科書]

初宿正典『基本判例 憲法25講』（成文堂）（最も新しい版を購入すること。）

[参考書等]

（参考書）

曾我部真裕・見平典 編『古典で読む憲法』（有斐閣）

大林啓吾・見平典 編『憲法用語の源泉をよむ』（三省堂）

[授業外学修（予習・復習）等]

特に、復習を大切にしてください。復習では、教科書・参考書やノートを参照しながら、授業内容を整理して理解するとともに、授業で取り上げた判例を今一度読み直して、自ら検討するように努めて下さい。また、日頃から新聞やニュース番組等を通して、憲法に関する諸問題について知見を広げるように心掛けて下さい。

[その他（オフィスアワー等）]